

# 枚方中国語を学ぶ会だより

2015年4号  
枚方  
中国語を学ぶ会



【写真上】懇親会で挨拶する西川会長。【写真下】懇親会で歌う初級班の面々。

## 介绍一下我的班—上級Ⅰ班

### 今も中国語に好奇心

上級1班は、現在女性2名 男性7名の計9名で学習しています。特色の一つは平均年齢が高いことがあげられます。もちろん中には若い方もおられます。特色の二つ目は長期間 学習してきたことでしょう。今だに 中国語に対して好奇心と新しい言葉との出会いに新鮮な喜びを持っていることは、驚異的です。

毎回の授業は、まず日中の時事関係の聞き取り練習とフリートーキング その後教科書に入ります。日本語と中国語を織り交ぜて行っています。

8時30分に「謝謝 老師」と各自が挨拶し、次の再会を約して充実感を持って授業を終えます。

## 作って、食べて、ゲームして 「中国料理を作る会」開かれる

2月22日(日)、サダ生涯学習センターで、枚方中国語を学ぶ会の恒例行事である「中国料理を作る会」が行われました。

例年のことですが、当日は、開始時間の10時より前に多くの会員が集まり、この行事に対する会員の熱意を大いに感じさせられました。

午前中は、入門班の水餃子をはじめ、各班が腕を振るっての料理づくり。そこそこで笑い声が起こる中、力を合わせて中国料理づくりに挑戦しました。

そして、いよいよ試食。テーブルに並べられた各班自慢の中国料理を食べながら、班員相互、また班を超えての会話が弾み、交流を深めることができました。

懇親会における各班の出し物も、

初級班のコーラス、中級班の中国語早口言葉、上級1班の「中国の三大〇〇クイズ」、上級Ⅱ班の影絵劇など、盛りだくさん。早口言葉では、ゲストの中国人の方のあまりの速さに、参加者から「ワァ」「さすが」と感嘆の声が起こりました。

大いに盛り上がった中国料理づくりと懇親会でしたが、今西事務局長の挨拶で閉会。参加者は楽しい一日を過ごしました。

外国語を学ぶということは、その国の文化を学ぶことでもあり、その言葉を母語とする人々への理解を深めるということです。会では、今後もこうした行事の充実を図ります。

### 西川会長の 中国語余話③

#### パンダはなぜ熊猫か

今回も、去年の合同学習会で時間切れで話せなかったことの続きです。

ちょっと“熊貓”のことを考えてみてください。もちろん「パンダ」のことです。でもこの中国語、見方を変えればちょっと変じゃないですか？

「熊のような猫のような」動物、と理解されるかも知れませんが、中国語の語形（修飾語+被修飾語）の原則から理解すると、「熊の

ような猫」になってしまいます。本当は「猫のような熊」だから“猫熊”になるはずですが、現に台湾では“猫熊”と言います。

変ですね？ 実は、1950年ごろ、四川省の動物園で「パンダ」を展示したとき、動物園側は、現代中国語の規則通り左から右に読むように「猫熊」と表示したんですが、まだまだその習慣がなくて、見た人は、従来通り右から左に読んでしまい、いつの間にか“熊貓”が定着してしまったというのがその理由のようです。言葉の成立というのはほんとに面白いですね。

---

---